

05 APR 2005

特 許 協 力 条 約

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]

REC'D 05 AUG 2004
WIPO PCT

出願人又は代理人 の書類記号 03-F-037PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JPO3/12680	国際出願日 (日.月.年) 02.10.2003	優先日 (日.月.年) 07.10.2002
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. A61K38/17, 45/00, A61P9/00, 19/08, 25/00, 43/00, C12Q1/02, G01N33/50, 33/15		
出願人 (氏名又は名称) 独立行政法人科学技術振興機構		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a ☐ 附属書類は全部で ページである。

☐ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)

☐ 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙

b ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。(実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎

☐ 第II欄 優先権

☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成

☒ 第IV欄 発明の単一性の欠如

☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明

☐ 第VI欄 ある種の引用文献

☐ 第VII欄 国際出願の不備

☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 23.04.2004	国際予備審査報告を作成した日 16.07.2004	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 上條 のぶよ	4C 9454
電話番号 03-3581-1101 内線 3451		

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

- ☐ この報告は、_____ 語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。
- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
- ☐ PCT規則12.4にいう国際公開
- ☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第 _____ ページ、出願時に提出されたもの
第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの
第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
第 _____ 項*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ 項*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル
配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第IV欄 発明の単一性の欠如

1. 請求の範囲の減縮又は追加手数料の納付の求めに対して、出願人は、

- ☐ 請求の範囲を減縮した。
- ☒ 追加手数料を納付した。
- ☐ 追加手数料の納付と共に異議を申立てた。
- ☐ 請求の範囲の減縮も、追加手数料の納付もしなかった。

2. ☐ 国際予備審査機関は、次の理由により発明の単一性の要件を満たしていないと判断したが、PCT規則68.1の規定に従い、請求の範囲の減縮及び追加手数料の納付を出願人に求めないこととした。

3. 国際予備審査機関は、PCT規則13.1、13.2及び13.3に規定する発明の単一性を次のように判断する。

- ☐ 満足する。
- ☒ 以下の理由により満足しない。

請求項1-3に係る発明は、好酸球カチオン性蛋白質と薬学的成分又は細胞生物学的成分とを含有する、細胞の生存維持、増殖および/または細胞分化の障害を原因とする疾患に対する治療用組成物、又は、細胞の生存維持、増殖および/または細胞分化を促進する培地であるのに対し、請求項4、5に係る発明は、細胞の生存維持、増殖および/または細胞分化の障害を原因とする疾患に対する治療用組成物の有効物質をスクリーニングする方法であって、細胞に候補物質を接触させ、ETCと同程度またはそれ以上に細胞の生存維持および/または細胞分化を促進させる物質を目的物質として特定することを特徴とするスクリーニング法である。

しかしながら、請求項1-3に係る発明は、好酸球カチオン性蛋白質が、動物細胞の生存維持や分化促進といった生理活性を有することを利用した組成物に係る発明であるが、請求項4、5に係る発明は、細胞に候補物質を接触させる、増殖および/または細胞分化の障害を原因とする疾患に対する治療用組成物の有効物質をスクリーニングする方法であって、好酸球カチオン性蛋白質が、動物細胞の生存維持や分化促進といった生理活性を有することとは何の関係もない方法であって、PCT規則13.2の第2文の意味において特別な技術的特徴と考えられる共通の事項が存在しないので、それらの相違する発明の間、PCT規則13の意味における技術的な関連を見いだすことはできない。よって、これらの発明は、一又は二以上の同一又は対応する特別な技術的特徴を含む技術的な関係にないから、単一の一般的発明概念を形成するように連関しているものとは認められない。

4. したがって、国際出願の次の部分について、この報告を作成した。

- ☒ すべての部分
- ☐ 請求の範囲

に関する部分

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条 (PCT35条(2)) に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)

請求の範囲

1-5

請求の範囲

有
無

進歩性 (IS)

請求の範囲

1-5

請求の範囲

有
無

産業上の利用可能性 (IA)

請求の範囲

1-5

請求の範囲

有
無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

<国際調査報告で引用した文献>

文献1: WO 98/17794 A1 (インサイト・ファーマスーティカルズ・インコーポレイテッド), 1998.04.30

文献2: WO 01/85766 A1 (イノヴェンタス・プロジェクト・アクチボラゲット), 2001.11.15

文献3: WO 99/01152 A1 (THE GOVERNMENT OF THE UNITED STATES OF AMERICA, represented by THE SECRETARY, DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES), 1999.01.14

文献4: EP 502718 A1 (パイオニア ハイブレッド インターナショナル インコーポレイテッド), 1992.09.09

文献5: JP 5-111382 A (株式会社サイトシグナル研究所), 1993.05.07

文献6: Hernnaes, Johan, et al., Eosinophil cationic protein alters proteoglycan metabolism in human lung fibroblast cultures, European Journal of Cell Biology, 1992, Vol.59, No.2, p.352-63

文献7: Patella, Vincenzo, et al., Eosinophil granule proteins are selective activators of human heart mast cells, International Archives of Allergy and Immunology, 1997, Vol.113, p.200-202

<説明>

請求の範囲1-5に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1-7に対して進歩性を有する。

文献1-7には、好酸球カチオン性タンパク質と他の成分とを含有し、細胞の生存維持、増殖および/または細胞分化の障害を原因とする疾患に対する治療用組成物、および細胞の生存維持、増殖および/または細胞分化を促進する培地用組成物、並びに、好酸球カチオン性タンパク質を用いて、細胞の生存維持、増殖および/または細胞分化の障害を原因とする疾患に対する治療用組成物の有効成分物質をスクリーニングする方法が記載されておらず、しかもその点は当業者といえども容易に想到し得ないものである。